



公益財団法人
加古川市国際交流協会
Kakogawa International Association

広報

2018.10

vol.34

Public
Information

CONTENTS

2018年度前期 国際交流事業紹介	2-3
特集 ブラジル日本人移住110周年記念式典	4
NEWS & お知らせ	5-6



みんなでたのしく学んでいます☆
(外国人のための日本語講座)



英語ではなそう♪
(English Cafe)



みんな勉強がんばっています☆
(日本語プライベートレッスン)



お茶の作法を体験中☆
(鶴林寺茶会)



広大なブラジル農地を体感しました！
(青年海外派遣)



ニュージーランドの学校体験！
(中学生海外派遣)

4月

外国人のための日本語講座
開講 (4/12～)

日本語講座のようす

開講25年目を迎える本講座。市内在住外国人の数は増加傾向にあり、日本語教育の需要・必要性がますます高まっています。クラスは入門、初級1、初級2の3つに分かれ、13カ国約50名の外国人が受講しています。また、年齢も10代から60代までとさまざまです。協会ボランティア講師のきめ細やかなサポートによって、受講生は毎回、積極的に学習に取り組んでいます。

講座の最終日(2018年3月10日)に、1年の成果を発表する「外国人による日本語スピーチ発表会」を開催します。

4月

鶴林寺茶会参加 (4/29)



本堂の前で記念撮影

鶴林寺で行われた茶会に、協会で日本語を勉強している外国人と講師、計28名が参加しました。茶会が初めての参加者は、慣れない作法に少し緊張されたようです。講師に着物を着付けてもらった外国人もいました。きれいな庭園を眺めながら、おいしいお茶と和菓子をいただき、日本文化を体験する貴重な機会となりました。

5月

語学講座 開講 (5/10～)



中国語の授業のようす

今年度の語学講座は「基礎から学ぶ英会話」と「基礎から学ぶ中国語会話」の2講座を実施しました。いずれの講座もたくさんの応募がありました。「基礎から学ぶ英会話」は24名の受講生が集まり、カナダ出身の講師によって毎回賑やかに授業が行われています。「基礎から学ぶ中国語会話」は初めて中国語を学ぶ方が対象で、中国出身の講師による丁寧な指導のもと、上達を目指して受講生はがんばっています。

7月

ブラジル日本人移住
110周年記念式典出席
(7/14～7/23)

盛大な式典が行われました

1908年6月、初めての日本人移民船がブラジル・サントス港に到着してから今年で110周年を迎えました。これを記念してブラジル国内でも様々な式典が開催されるなか、加古川市長、加古川市議会議長を初めとする訪問団8名が姉妹都市ブラジル・マリンガ市を訪問し、記念式典に出席しました。

※P4の特集記事をご覧ください

8月

第27回 青年海外派遣 (8/7~8/18)



大きなコンバインの前で記念撮影

加古川市在住の青年6名と引率2名、計8名の訪問団が姉妹都市のブラジル・マリンガ市に派遣されました。滞在中は4日間のホームステイを行い、マリンガ市での生活を体験することができました。広大な国土や自然の雄大さだけでなく、ポルトガル語やブラジル人のオープンな心にも触れられ、ブラジル文化を体験する大変貴重な体験になりました。

8月

第28回 (8/13~8/22) 中学生海外派遣



マオリ文化を学ぶ派遣生

加古川市在住の中学生10名と引率2名、計12名の訪問団が、姉妹都市のニュージーランド・オークランド市に派遣されました。滞在中は6泊のホームステイを行い、英語で交流を深めました。また、現地の学校ラザフォードカレッジでは2日間の授業に参加し、生徒と英語で積極的にコミュニケーションを図るなど、頼もしい姿も見られました。

日本語プライベートレッスン (常時)

木曜日の日本語講座に参加できない外国人に日本語プライベートレッスンを実施しております。

ボランティア講師のご厚意と熱意のもと、100を超えるペアが、現在当協会では日本語を学んでおります。特に、週末に学習者が多いため、土日は自由学習室・サロンと201号室は大変賑やかです。

今年度10月から日本語ボランティア養成講座初級Ⅱを、来年1月から日本語ボランティア養成講座初級Ⅰを実施予定です。

日本語ボランティアに興味はあるけど、迷っているあなた、まずは一度、協会にお問合せ下さい♪



熱心に日本語を学んでいます

English Cafe (5/19、6/29、8/31)



ときどき多言語も混ざったり♪

昨年度から約2か月に1度、開催しています。英語でのコミュニケーションの練習や参加者同士の交流の場となっています。飲み物を片手にリラックスした雰囲気で行っています。毎回すぐに定員に達しますので、興味をお持ちの方は、ぜひHPやFacebookで早めに情報をご確認ください。

次回は10/28(日)午後3時30分~多言語をプラスして開催の予定です。

特集 ブラジル日本人移住110周年

日本からブラジルへの移民が始まったのは1908年。神戸港を出港した笠戸丸には780人の日本人が乗り込み、サンパウロ郊外のサントス港に到着しました。ブラジルでの生活は、コーヒー農園での重労働やジャングルの開拓など辛く厳しいものだったにもかかわらず、移民船が廃止されるまでに約13万人もの日本人がブラジルに移り住みました。そうして、多くの日本人がブラジルの大地に深く根を下ろしていくことになったのです。

2018年は「日本人ブラジル移住110周年」として、式典やイベントがブラジル各地で開催されました。今回は、ブラジル・サンパウロ州とパラナ州で行われた式典について特集します。

パラナ州式典

パラナ州・マリンガ市での祭典並びに記念祭は、広大なイベント会場で開催され、式典には約1万人の参加があり、日本からも眞子内親王殿下をはじめ多くの関係者が出席されました。会場内にはブラジル、日本の企業、団体、自治体のブースが展示され、本市も展示ブースを設置し、マリンガ市と加古川市との交流の歴史や市内の観光地、棋士のまち加古川や、加古川和牛、靴下産業、かつめし、市内企業の紹介などを日本語とポルトガル語で行いました。さらに、シティプロモーション動画や観光、産品等の紹介動画の放映も行い、多くの来場者に見ていただきました。



岡田市長と言葉を交わす眞子内親王殿下
(加古川市展示ブース前にて)



加古川市の展示ブースに
多くの方が訪れました

サンパウロ州式典

サンパウロ市でも盛大な移民110周年記念事業が開催され、その会場内では、かつめしのサンプルが披露されており、ブラジル国内での周知が期待されます。

故木下正一氏(元加古川市長)の名前がつけられたバスターミナルがマリンガ市内に設置されました。



故木下正一氏は加古川市長、当協会の理事長、顧問を歴任され、本年1月にご逝去されました。市長在任中の2000年にはマリンガ市名誉市民の称号も授与されています。マリンガ市では、市民の利便性を高めるためのバスシステム計画が構築され、市内に拠点となるバスターミナルが整備されており、そのうちのバスターミナルの1つに、今回「Terminal Seiichi Kinoshita」との名称が付けられました。

NEWS-1

日本語指導ボランティアの 稲岡さんが草の根国際功労 賞を受賞されました！

2018年6月1日（金）、ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が神戸市で開催され、当協会で1996年から日本語指導ボランティアとして活動されている稲岡安則さんが「草の根国際功労賞」を受賞されました。

1994年度に在住外国人への日本語講座がスタートして今年で24年目を迎えますが、稲岡さんは1996年4月から2012年3月までの16年間、当協会主催の「外国人のため



表彰楯が授与されました

めの日本語講座」の講師を務められてきました。その後、「日本語個人指導」でマンツーマンでのレッスンや、日本語自主講座をたちあげて教えるなど、これまで多くの外国人へ日本語の支援に尽力してこられました。

＜稲岡さんに協会から日本語指導ボランティアについて質問をしました＞
ー日本語指導を始められたきっかけは何でしょうか？

今から22年前、当時自分は英語と中国語を勉強していました。「日本語を勉強することが、自身の外国語の勉強にプラスになると思って、「日本語ボランティア養成講座」を受講しました。

講師になることは考えていませんでしたが、受講後に当時の事務局の人から「ボランティアをする人が少ないので、ぜひ、やってみませんか！」と、勧められたのがきっかけです。

ー日本語指導を続けることの秘訣また、指導の醍醐味は・・・？

ボランティアを始めたばかりの4年間はとにかく辛かったです。授業準備が大変でした。1回2時間の授業のための教案づくり（シナリオ、テーマなど）に1、2日間かかってしまったこともありました。当時は仕事もしていたので、あまりの大変さに何度も辞めようと思いました。5年目くらいから、少しずつ余裕が出てきて、やっと「たのしむ」ことができるようになりました。長く続けることができたのは、生徒との人間関係があったからだと思います。授業で生徒と接することで、生徒からたくさんのエネルギーをもらえました。

ー今後、ボランティアを志す方へ一言お願いいたします。

学習者一人一人、勉強の目的がちがいます。学習者のニーズをよく汲み取って、そして寄り添ってください。お互いのコミュニケーションが大事です。しんどいこともあるかもしれませんが、ボランティア講師がしっかり準備をしたら、学習者は絶対に反応してくれます。学習者の方から得るエネルギーが喜びになるとと思います。



壇上に立つ稲岡さん（左から1番目）

NEWS-2

樽本理事長が旭日小綬章を 受章されました！

2018年度春の叙勲で、前加古川市長、現加古川市国際交流協会理事長である樽本庄一氏が「旭日小綬章」を受章されました。

2018年度後期募集講座

使って安心、 加古川防災アプリ



災害がおきたとき、どうしたらいいの？
そんな不安も「加古川防災アプリ」で安心です！どこに避難したらいいか、簡単に知ることができます

まず、加古川アプリをダウンロードしてください



気象警報発令時の休講の案内は協会のHPやFacebookに載せています

●にほんごカフェ

11月から2ヶ月に1回開催予定！

日本語で会話の練習をしたり、お茶を飲んで話します♪日本語で会話をしたい人は誰でも参加できます。

11月18日（日）午後3時30分～午後5時に実施予定（防災食を食べながら、防災について学びます。）

Safety tips



観光庁が発信しているアプリ「Safety tips」は、外国人向けの緊急情報もあり、大変便利です

事業計画（予定）

●ふれあい国際料理講座②

ニュージーランドの先生と英語で作ろう！フィッシュ&チップス



☆農林漁業祭との共催事業☆

12月2日（日）

講師：ポール・コーンウォールさん

対象：中学生以上

内容：料理（フィッシュ&チップス）、文化紹介（ギター演奏等）

募集締め切り：11月20日（火）
午後5時必着

●国際交流セミナー11月4日（日）

①青少年海外派遣帰国報告会



②海外での日本語指導体験談

先着50名（入場無料・申込不要）

●ふゆまつり

12月9日（日）

●日本語ボランティア養成講座初級Ⅰ

1月19日～3月16日（土）

●障がい者海外派遣

2月8日～15日（金）

●外国人による日本語スピーチ発表会

3月10日（日）

（公財）加古川市国際交流協会

〒675-0017 加古川市野口町良野387-1

TEL 079-425-1166

FAX 079-425-0200

ホームページアドレス：<http://kakogawa-kia.or.jp>

E-MAIL：info@kakogawa-kia.or.jp

協会活動の紹介や参加者募集のお知らせを掲載したホームページを公開しています。ぜひご覧ください。



facebook

加古川市在住外国人（2,634人）

1位	韓国	842人
2位	中国	455人
3位	ベトナム	361人

2018年9月30日現在